

養護老人ホーム「宮之城敬老園」の 今後の施設整備等は

民間委託計画の 進捗状況は



肥後 紀康 議員

肥後 紀康議員 敬老園は、
昭和四十九年に現在地に

移転して、三〇年が経過した。老朽化も進んでいるが、今後の整備計画は、

北村町長 施設の全面改修を計画していたが、長引く景気の低迷で、税収

等の伸びも期待できない厳しい財政状況にある。改築には一〇億円以上の予算が見込まれることや民営化に向けての内部検討も始めていることから、改修の計画はしていない。

肥後議員 本町の行政改革の一環として、これまで山崎・佐志の両保育所を社会福祉協議会に委託するなどしてきたが、敬老園の民間委託については、どの程度まで作業が進んでいるのか。

町長 敬老園の管理・運営については、平成十二年に策定した「第三次行政改革大綱」に基づき、行政運営の効率化と施設利用者へのサービス向上を図るためには、民間委託等を推進していく必要がある。本年中にプロジェクトを立ち上げ、移譲施設等の調査研修や果との協議調整等、今後、医療機関を含めた社会福祉法人等への民間移譲に向けて、具体的な検討協議をしていきたい。



築40年を経過した山崎の町営住宅

古い町営住宅の 建替え計画は

肥後議員 山崎の町営住宅は、昭和三十九年から四十年に建築され、築四十年を経過している。建て替えの計画は、どうなっているのか。

町長 本町の町営住宅は、三十三団地、三一一戸となっており、耐用年数を

経過した住宅が、九十九戸ある。年次的に建て替えを進めるために、平成十三年度に「住宅マスタープラン」と「公営住宅ストック活用計画」を策定した。

山崎団地については、平成二十年から二十二年にかけて、建て替えを計画している。